

違いは、
握った瞬間に。

三条の職人が、
木柄に魂を吹き込む。

手間を重ねることで生まれる、
独特の凹凸と、しっとりとした手触り。

焼き加工によって表面は引き締まり、
汚れが目立ちにくく、
手にも馴染みやすい。

無垢材の風合いを楽しみながら、
現場で扱いやすく。

使い続けることを考えた、
新しい木柄のかたちです。

舞台屋鉗
焼加工シリーズ



櫛・舞台屋鉗柄 四角 360mm

櫛ならではの力強さはそのままに、
焼き加工ならではの風合いを重ね、
実用性と意匠性を兼ね備えた新しい舞台屋鉗柄です。



細部に宿る強さ

ヘッドを固定するクサビには、
3.2mm厚の特厚仕様を採用。
見た目の存在感だけでなく、
頭が抜けにくい堅牢な構造を実現。
舞台屋鉗ならではのこだわりが、
細部にまで息づいています。